

アゴを上げるな

－受験生の効果的夏休みの過ごし方・パートⅡ（8月中）－

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

受験にとって頭のよい・わるいは全く関係はありません。勉強をたくさんしたか、しないかだけで合否が決まります。受験の日は毎年ほぼ同じで、試験まで与えられた時間は皆同じです。勉強時間をたくさん確保した人が合格をして、確保できなかった人が希望をかなえられない。ただそれだけのことです。自分は覚えが他の人より少しよくないと思う人は、更に勉強時間を増やせばよいだけのことです。

私どもは、開倫塾をはじめて15年目になろうとしています。生徒を自分たちの塾で教えるようになって以来、毎年、口をすっぱくして訴えつづけているのが夏休みの重要性です。9月に入ると、模擬試験、実用英語検定試験、文化祭、運動会、中間試験、期末試験、三者面談、各種委員会や発表会と、試験や行事が目白押しなことは今年も例年と変わりないと思われまふ。一人ひとりの生徒について様々なデータが出そろい、本命はどここの高校でどここの高校をすべり止めのために受験しなければならぬかを真剣に考えなければならぬのが11月までです。12月に入ると、成績の中以上の生徒のほぼ80%が受験する「私立高校学業特待試験」が中旬から一斉に行われます。どうしようどうしようと言っている間に、あつと言う間に来ってしまうのが12月中旬以降の「私立学業特待試験」です。この合否が、1月の私立高校入試や、2月の県立推薦入試、3月の県立高校入試での受験生に大きく影響しますので、私立学特入試は本当に大事です。「はじめに」十分認識しておいて頂きたいのは、8月がスタートした今、私立学特試験まで、もう4か月半しかないということです。9月に入ると様々な行事や試験がまっているため落ちついて勉強することが大変な人が多いということです。「夏休みは入試の天王山。夏を制した者が入試を制する」ということは高校入試にもそのままあてはまります。時間に余裕のある8月こそ、本当に全力を傾けて一日中勉強をすべきであります。

ではどのように勉強したらよいかを次の章で述べます。（どのような勉強方法をとるかは本人の自由ですが、私たちは15年間受験生を見させて頂き、次の方法がベストであると考えましたので、開倫塾のカリキュラムとして組ませて頂いております。

2. 8月の勉強方法

(1)8月9日の模試日まで

開倫塾の夏期講習テキストをすみからすみまで暗記して下さい。又、できない問題は全部できるようにして下さい。テキストに出てくる単語や語句で意味不明なものは調べ尽くして下さい。書けなそうな漢字や語句は完全に書けるようにして下さい。わからない項目や問題は、教科書や

参考書で調べ、それでもわからなければ塾の先生に遠慮なく質問して下さい。そのように熱心に勉強して、8月9日の開倫塾模試では各科とも100点満点を取って下さい。

*8月9日の試験は、講習会を受講した受験生の皆さんに十分な勉強時間を確保してもらうために実施するものでもあります。テストの範囲は、夏期講習I期の内容から出るように各科の作問担当の先生が作って下さっていますので、どうか思いきり勉強して下さい。

(2)8月11日～8月15日まで

開倫塾のほぼ半数の校舎で、朝9時から夕方6時まで休み時間を除いて8時間の間1科目を集中的に教える「単科集中ゼミ」が開かれます。首都圏の学習塾では4泊5日で受験生向けの合宿が開催されますが、この5日間はそれに似たようなものです。

8月分の授業がお盆すぎからはじまりますが、せっかく8月9日まで熱心に勉強したのにお盆休みが入ってしまうと、中ダルミしてしまい、せっかく身についた勉強の習慣がとれてしまいがちです。そこで、ほぼ全員の受験生がゆっくり遊んでいるお盆の5日間を利用して、一日中勉強、それも1科目にしぼりこんだ勉強をする機会を設けました。

昨年度から「正月特訓」もスタートして同じように、一日8時間1科目にしぼりこんで勉強をしていただきましたところ、参加者と御父母の皆さまから大好評で、「目からウロコがとれた。なぜ夏からやってくれなかったのか」とのお叱りまでいただきましたので、本年から企画しました。(校舎によっては実施していないところもありますが、近くの校舎で受けられますから、是非受講して下さい。とにかく、みんながあそんでいるお盆中、朝から夕方までみっちり一日中勉強するので、これだけでも差がつきます。)

(3)8月17日以降

開倫塾の8月分授業の予習と復習を徹底的に行ってください。中3の2学期の予習が勉強の内容なので、よい2学期の予習ができます。もちろん、中1や中2、中3の1学期までの復習もしますから、少しでも不確かなところがあれば、中学校や開倫塾で使っているテキストや参考書、問題集で復習もして下さい。

学校の宿題がまだ残っているようなら是非早目に終しておくことも大事です。

(4)東京ディズニーランドツアー (8月24日)

受験生でも、たまには息抜きをしないとストレスがたまってしまう気の毒であるとの考えから、3年前から、夏休みのお楽しみイベントとして、東京ディズニーランドバスツアーを実施しています。十分リラックスして楽しみ、夏休みの最後の勉強のエネルギーにして下さい。

3. おわりに

受験生は、夏休みの一日を次のようにすごすことにより、大量の勉強時間を確保すべきであると考えます。

(1)午前6時～8時 (2時間)

午前6時少し前に起き、朝の勉強をして下さい。非常にすがすがしい気分、グングン勉強がはかどります。

(2) 午前 8 時 30 分～午後 0 時 30 分 (4 時間)

NHK の「ピア！」を見ながらのしく朝食をとったあと、サッと 8 時 30 分になったら机に向かうのが最大のコツです。午前中のすずしい内に、部屋の中に少し弱めにエアコンをかけ、4 時間、ミッチリ勉強すること。

(3) 午後 8 時～ 10 時 (2 時間)

開倫塾の講習会は夕方 6 時すぎに終わりますので、帰宅後シャワーをあび、楽しく夕食を取り、リラックスしてからサッと 8 時になったら机に向かい一日の最後の勉強を 10 時までして、眠りに就くこと。

これに加えて、開倫塾では、午後 2 時すぎから、6 時すぎまで 4 時間内外夏期講習会や 8 月分授業を実施しますので、合計すると 12 時間の勉強ができます。

本当を言うと、受験勉強は、頭の上よしあしでもなければ、覚えがよいかどうかでもなく、長時間勉強できる「気力」と「体力」が最も大事なのです。競争相手つまり敵は他の受験生ではなく、自分自身の中にあります。志を高くもち、この高校に絶対入りたいのだという意思を明確にした上で、何が何でも合格してやるのだと心を強くもち、長時間の学習を自分自身に課して下さい。長時間の勉強ができれば今までの成績など全く関係なく、だれでも必ず希望の高校に合格できます。成績も必ず上がります。

開倫塾でも全力を傾け、やれることはすべてやりますので、受験生の皆さんも全力を傾け、とりあえずアゴを上げることなく「長時間学習」を実施して下さい。